

河本広大さん  
環境学研究科 社会環境学専攻  
環境政策論講座 博士課程前期2年



## 名古屋のまちを「名チャリ」で行こう

2007年12月、名古屋都心で一つのユニークな社会実験が行われた。「名チャリプロジェクト」。環境学研究科、竹内恒夫教授の研究室の院生3人が計画。保管期間切れの放置自転車を修繕し、栄や大須など5カ所の「ステーション」に約20台ずつ配置。氏名と電話番号の記入だけで、無料で市民に貸し出すというものだ。

「まず最初に放置自転車もったいない。保管場所の維持費も処理代も税金。もうひとつは自転車をシェアできないかという発想。一般の人が自転車に乗るのは30分から1時間で残りの時間は使わない。みんなで同じ自転車をうまく使いまわせば、放置自転車や違法駐輪がなくなって、環境にもやさしい」と語るのは、企画者の一人、河本広大さん。プロジェクトの先には、放置自転車を市民共有のコミュニティサイクルにして、名古屋都心の新しい交通手段に位置づけようとする大きなねらいがある。

その第一歩となった今回の実験。延べ1400人以上、約2000回の貸し出しと、予想を超える反響を呼んだ。みんなで自転車シェアリング—その提案が市民や企業の共感を得て大きなうねりとなっていくのか。まだまだプロジェクトは続いていく。



ステーションでの貸し出し風景



こんなおしゃれな自転車も実は放置されていたもの



国立大学法人名古屋大学

〒464-8601

名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科

TEL.052-789-3455

www.env.nagoya-u.ac.jp/

